

平成27年2月銚子市教育委員会定例会会議録

1 日 時

平成27年2月20日（金）

午後3時00分 開 会 午後4時00分 閉 会

2 場 所

銚子市役所3階 庁議室

3 出席委員

委員長	松 尾 順 子
委 員	八 角 憲 男
委 員	鈴 木 猛 志
委 員	大八木 鷹 次
委 員	石 川 善 昭

4 出席職員

教育部長	青柳 清一	参事（生涯学習課長事務取扱）	石橋多加士
教育総務課長	宮内 伸光	学校教育課長	永綱 英行
スポーツ振興課長	春山 敏郎	学校教育課課長補佐	向後 陽子
指導室長（兼小児言語指導センター所長）	梅澤 幹直	生涯学習課課長補佐	間山 文代
青少年指導センター所長	草野 元良	市民センター所長	鈴木由美子
公正図書館長	林 宏美	青少年文化会館長	高森 良文
体育館長	飯笹 博充	銚子高等学校事務長	大塚 明
教育総務課指導主事	平山 公治	教育総務課指導主事	本田 拓二

5 議題等

議案第7号	銚子市学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案第8号	平成27年度銚子市学校教育指導の指針について
議案第9号	銚子市立高等学校教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第10号	銚子市立高等学校教育職員の初任給、昇格、昇給等に関する 規則の一部を改正する規則制定について

6 議事の内容

【委員長】 開会宣言 午後3時00分

ただいまより、平成27年2月銚子市教育委員会定例会を開会いたします。

では、直ちに本日の会議を開きます。

【委員長】

はじめに、前回会議録の承認についてお諮りいたします。

1月27日に開催いたしました平成27年1月教育委員会定例会及び2月10日に開催いたしました平成27年2月教育委員会臨時会の会議録を事前にお配りしておりますが、よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

ご異議ないものと認めますので、当該会議録について承認いたします。

【委員長】

それでは次に、教育委員会に関する報告をしていただきます。

では、教育長からお願いします。

【教育長】

それでは、お手元にお配りした資料に沿って、前回の教育委員会定例会以降の報告をさせていただきます。ご説明いたします。

始めに、1点目ですが、1月28日、第2回市町村教育委員研修会が、佐倉市民音楽ホールで開催され、松尾委員長、大八木委員と私が参加してまいりました。北総病院副院長の小林医師による講話でございます。具体的には、脳外科に関わる症例についての話でございました。

2点目ですが、1月29日、県歯科医師会の主催による「摂食嚥下地区講習会」に出席してまいりました。各学校の養護教諭、保育士、幼稚園教諭が出席いたしました。

3点目ですが、1月30日、銚子市生活習慣病（小児）健診委員会を開催いたしました。医師会4名の先生方、校長会、養護部会が出席しました。毎年行われております小学校4年生対象の血液検査の状況、さらには、それによって問題のある児童9名の状況について把握をいたしました。

続いて、4点目ですが、2月1日、第50回銚子市民マラソン大会が、ウオッセイイベント広場を中心に開催されました。八角委員と私が出席いたしました。

5点目ですが、2月4日から6日にかけて、市内の校長の目標申告を実施いたしました。市内の小中学校の校長、さらには、市立高等学校の校長を対象としてのヒアリングを実施いたしました。今年一年の目標に対するこれまでの経過、結果でございます。

6点目ですが、2月6日、「生活習慣病と生活管理」と題しましての研修会を実施いたしました。石上医師、石毛栄養教諭による講話でございます。特に3点目でお話いたしました小児生活習慣病の健診で問題となりました児童の保護者、さらには、興味関心のある保護者を対象としたものでございます。

7点目ですが、2月9日、旭市立第二中学校を会場としまして、東総管内の第5回教育研究集会が開催されました。東総管内の小中学校教員全ての参加によるものでございます。元柔道家の山口香氏による講話でございました。

8点目ですが、同日2月9日、銚子市医師会との懇談会を実施いたしました。医師会から10名出席いただきました。就学児の指導健診、また、現在の子どもたちの様子を含めて協議を行いました。

9点目ですが、2月10日、北総教育事務所長人事面接（第二次）、校長面接でございます。管理職を除く一般教職員全ての人事についての校長面接でございます。

10点目ですが、2月10日、平成27年2月教育委員会臨時会を開催し、新中学校再編方針について決定していただいたところでございます。

11点目ですが、2月12日、銚子市学校給食センター運営委員会を開催いたしました。今年度初めての開催でございます。内容につきましては、これまでのアレルギー対応についての説明でございます。

続きまして、12点目ですが、2月12日から13日にかけて、市立銚子高等学校入学者選抜・前期選抜が行われました。県内の公立高等学校全て同日でございます。定員320名に対しまして、応募者数325名でございました。2月19日に発表がありまして、6割の192名の合格がありました。残りの4割については、後日後期選抜がございます。

13点目ですが、2月13日、平成27年3月市議会定例会が開会されました。3月10日に閉会の予定でございます。

14点目ですが、2月13日、市議会議員協議会が開催され、その場で、新中学校再編方針について説明をいたしました。議員からは、なぜ東からではなく、西側が最初なのかと、また、今後小学校はどうするのか等の質問がございました。

15点目ですが、同日2月13日議員協議会終了後、記者発表を行いました。お手元の資料に、新聞記事を掲載させていただいておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

続きまして、16点目ですが、2月14日から15日にかけて、円福寺・ちょうしのかんのんさま寺宝展が開催され、市長と私が出席してまいりました。慶応大学の教授から説明等があり、円福寺で所蔵されております古典本の重要性や内容について説明を受けました。国宝級のものが大変そろっているというお話を受けました。

17点目ですが、2月17日、東総地方教育委員会連絡協議会表彰者選考会議が、東総教育会館で行われ、鈴木委員と私が出席してまいりました。功労者が11名、永年勤続顕彰30年以上の経験者の47名が被表彰者に選考されました。

18点目ですが、2月18日、死亡叙位伝達式を行いました。故 岩瀬誠四郎氏、故 高濱忠勝氏のお二人でございます。お二人とも本市の中学校長を退職し、昨年お亡くなりになられた方でございます。

19点目ですが、本日2月20日午後6時30分から、保健福祉センターすこやかなまなびの城の2階会議室におきまして、市内小中学校長、PTA会長を対象とした「新中学校再編方針」説明会を実施いたします。

続きまして、学校教育課からですが、平成26年度教育論文について、6名の入選、佳作者について、先程、午後2時から表彰式を執り行ったところでございます。

生涯学習課からでございます。1点目ですが、霧笛舎登録有形文化財登録証及び登録プレート伝達式を2月3日に実施いたしました。昨年12月19日付けで国の登録有形文化財となりました霧笛舎の登録証及び登録プレートの伝達式でございます。

2点目ですが、2月14日から22日まで、市民センターを会場として、銚子市出身の木版画家の金子周次展を開催しているところでございます。私も昨日行ってまいりました。是非、時間があれば、ご覧いただきければと思います。大変素晴らしいものであると感じました。

以上で報告を終わります。

【委員長】

ありがとうございました。

その他、教育委員より報告することがございましたら、お願いします。

【委員長】

特に無いようですので、それでは、議事に入ります。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、先例にならい、八角委員、鈴木委員を指名します。

【委員長】

日程第2 会議時間の決定を議題といたします。

会議時間について、お諮りいたします。

本日の会議時間は、午後4時までといたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

ご異議ないものと認めます。

【委員長】

よって会議時間は午後4時までと決定いたしました。

【委員長】

続きまして、日程第3 議案第7号を議題といたします。

議案を職員に朗読させます。

(職 員 朗 読)

【委員長】

所管課長の提案理由の説明を求めます。

【学校教育課長】

議案第7号「銚子市学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則制定について」提案理由をご説明申し上げます。

本規則は、学校の施設を学校教育に支障のない範囲でスポーツの場として住民に開放し、社会体育の普及を図ることを目的に制定されたものです。今回の主な改正点は、市立銚子高校の体育施設について、開放施設及び開放時間を拡大しようとするものです。

それでは、新旧対照表をご覧ください。表の下の部分から裏にかけて市立高校についての記載があります。これまで、市立銚子高校の体育施設は、土曜日の午後7時から9時まで、体育館のメインアリーナ、サブアリーナ、剣道場及び柔道場を、火曜日及び木曜日の午後8時から10時まで、メインアリーナを、同じく火曜日及び木曜日の午後7時30分から9時30分まで、サブアリーナ、剣道場及び柔道場を開放しておりましたが、メインアリーナ、サブアリーナ、剣道場及び柔道場については、土曜日、日曜日、祝日の午後7時から9時までと月曜日から金曜日までの午後8時から10時までとし、屋内施設については毎日開放することとしました。また、新たに、ラグビー場について、日曜日の午前9時から午後5時まで、ただし、11月1日から翌年3月31日までは午前9時から午後4時までとし、開放することとしました。なお、以上の施設のいずれも、年末年始期間は開放しません。

以上で議案第7号の説明を終わります。よろしく御審議くださいますようお願い申し上げます。

【委員長】

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

【委員長】

この夜の時間帯に施設を使う場合には、対応する管理責任者はどなたになるのですか。

【学校教育課長】

規則におきましては、開放学校に、開放学校管理員を置くこととなっておりますが、現状では、その配置ができておりませんので、実際には、管理は置いておらず、鍵等を貸し出して、それぞれの団体に管理していただき、翌日等に学校で施設の状況を確認しております。

【委員長】

今の話ですと、使用団体の代表者がきちんと登録が何かされていて、その方が責任を持っているという理解でよろしいですか。

【学校教育課長】

ご指摘のとおりです。開放に当たりましては、団体の登録をしております。

【鈴木委員】

年末年始は日付が書いていませんが、12月29日から1月3日までということですか。

【学校教育課長】

そのとおりです。

【委員長】

他に質疑はありませんか。

他に質疑ないようですので、これをもって、質疑を終結します。

【委員長】

これより討論に入ります。討論はございませんか。

【委員長】

討論なしと認めます。

これより採決いたします。議案第7号について、原案のとおり承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

【全委員】 (挙手)

【委員長】

挙手全員であります。

よって、議案第7号は原案のとおり承認することと決しました。

【委員長】

続きまして、日程第4 議案第8号を議題といたします。

議案を職員に朗読させます。

(職 員 朗 読)

【委員長】

所管課長の提案理由の説明を求めます。

【指導室長】

議案第8号「平成27年度銚子市学校教育指導の指針について」ご説明いたします。

学校教育指導の指針は、各幼稚園及び学校において指導していくための指針として、銚子市教育委員会が毎年度作成しているものであります。平成27年度版の作成にあたっては、学習指導要領の基本的な考え方を踏まえるとともに、千葉県学校教育指導の指針を参考に、指導室において検討を進めてまいりました。お手元に用意させていただいたものは、『平成27年度銚子市学校教育指導の指針』の表紙とその詳細版です。

それでは、内容について説明させていただきます。始めに、その基本的な理念として、平成27年度については新たに『「生きる力の育成」ふるさと銚子を知り、郷土に誇りを持って成長できる教育の実践』とし、教育委員会は各幼稚園及び学校に対してお願いをしております。表紙のデザインも一新し、銚子ジオパークの地層に例えて、一歩ずつ生きる力を積み重ねていく意味を持たせております。そして、銚子の子どもたちに改めて「ふるさと銚子」を再認識させることを指針の重点としました。また、このことを実現させるために、「地域に信頼される学校づくり」を土台として、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、それらを積み上げていくことでなされることをイメージしております。なお、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」である知・徳・体は、いずれも等しく重要であるものと考えております。この三者をバランスよく身に付け、変化の激しい世の中にあっても、子どもたちが未来に向けてたくましく生き抜き、そしてふるさと銚子に誇りを持って成長していくことが大切であると考えます。

続きまして、2枚目以降についてご説明いたします。ここからは、1枚目にあります方針のそれぞれの重点項目に対する内容を示してあります。個々の事項につきまし

ては、平成26年度に大きく内容の見直しを行いましたので、基本的にはそれらの内容を踏襲し、先ほど述べましたとおり、基本理念の実現に向けて、具体的な施策及び事業を加えました。また、県の学校教育指導の指針で変更や挿入があった事項についても検討、確認し、市として同様に付け加えることといたしました。基本理念から付け加えた大きな施策や事業についていくつか挙げさせていただくと、「ふるさと学習の教材開発」「銚子ジオパーク見学」「家庭学習の支援」「全国学力・学習状況調査の市としての分析及び指導助言」「キャリア教育の一環としての千葉科学大学見学」などが挙げられます。なお、内容の区分としては、平成26年度のものと同様に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「信頼される学校づくり」としております。

幼稚園についても、小中学校と同様に、平成26年度に大きく見直しを行いましたので、内容的にはほぼ踏襲しております。小中学校との整合性を意識しながらも幼稚園独自のものとなるよう、平成27年度についても、小中学校とは別に作成しました。内容の区分についても、小中学校と同様に4つに分類してあります。

それぞれ、小中学校、幼稚園の指針の内容につきまして、平成26年度のものを踏襲し示していると申し上げましたが、今年度から、この指針を全幼・小・中学校の教員により一層浸透させ、常に各自の手元において日々の教育活動が実践され、年度末には自己及び各校で評価できるようにと考え、達成度調査を実施しているところがあります。公教育としての「チーム銚子」を目指し、各園、各校の独自性は尊重しつつ、どの園、学校においても同様の教育実践が図れるよう、今後もより良い指針の作成に努めていきたいと考えております。

なお、この指針につきましては、各学校及び関係諸機関へ配付をしていく予定です。また、各教員への配付については、各学校へデータにて配付をし、それぞれプリントアウトし、全教員が共有できるものとして使っていく予定であります。全体を集約した表紙部分については4月以降、教育委員会のホームページでも見られるようにしていきます。

以上で議案第8号の説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

【委員長】

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

【大八木委員】

今のご説明の中で、知・徳・体のバランスをとお話がありましたけれども、非常に大切なことであって、ちょうど青木半治杯銚子半島一周駅伝大会をやっておりますが、昔の話になりますが、知・徳・体は昔、心・技・体というようなことでよばれていたと思うんですね。実は私、青木半治さんと2人だけで対談をさせていただいたことがあるんですが、その時に、本人の言葉の中に、心・技・体バランスのとれたという教育ですね、これがより良い人間性を育てることなんだよというお話をされたんですよ。昭和54年のことですが、それを今思い出しまして。学校に何周年記念誌というのが

ありますが、その記念誌の編集のための取材ということで、話をさせていただきました。イタリアのベルッチというローマオリンピックでたった1人金メダルを取って英雄といわれた人がいたそうですが、この人の日本へ招待してからの姿、様子というものを感じてそのような話をしたのですが、非常に人間性の豊かな選手だったということです。スポーツ選手というのは、いろいろな場面の人間の様であっても、パワーとか技術とかそれだけ持っても世界一にはなれない。やはり、心・技・体バランスのとれた人間にならなければいけないというような、余分な話ですが、そのような話をされたのを思い出しました。そういうことを考えながら、この知・徳・体のバランス、ご指導というものをされて、一人ひとりの人間性というものを育てる意味においては、とても大切なことであると感じております。

【鈴木委員】

「生きる力の育成」ですが、これは文科省から最初に出てくるテーマですか。何年かに一度代わるのでしょうか。4、5年位のサイクルですか。

【教育長】

基本的に学習指導要領は、10年サイクルです。

【鈴木委員】

そうすると、国から県に下りて、県から地域に下りてきますよね。それが、4、5年前にこれに代わったということですか。

【教育長】

10年前にも「生きる力」という言葉はあったのですが、新しい学習指導要領の中では、生きる力を育むために、そのベースをさらにやろうということで、その生きる力を捉えているのですね。以前は単に、生きる力を育てようということだったのですが。

【鈴木委員】

それがまた何年か後に変わるのでしょうか。

【教育部長】

次は2018年ですね。

【指導室長】

「生きる力の育成」につきましては、前々回の学習指導要領の改訂からだったと記憶しているのですが、それから継続で、この言葉をうたっております。

【委員長】

それでは、20年以上ということですか。

【学校教育課長】

平成14年からです。

【八角委員】

1ページに「ICT環境及びサポート体制の整備」と書いてあるのですが、現代社会が子どもたちに求める1つの能力だと思っておりますが、これは現在小中学校で活用実態、又はこうしたものを積極的に利用された展開というのは、抽象的な質問です

がいかでしょうか。私たちも学校訪問させていただいて、パソコンを目にすることがあるのですが、これを活用した授業展開はどのような状況でしょうか。

【指導室長】

これは、各学校での活用の仕方によりますが、各教科と総合的な学習の時間等の調べ学習、又は、国語で文書作成などについてもパソコン教室で、児童生徒に作成させる。主に、物事を調べたりする学習で使う場合が多いかと思います。どの学校でも活用はしております。

【八角委員】

この整備というのは、全ての学校で、使おうと思ったら使える状態、そうした環境にあるということですか。

【指導室長】

そのとおりでございます。

【八角委員】

3ページの「家庭・地域に開かれた学校づくりの推進」の「学校を核とした1000か所ミニ集会」とは具体的にどのようなものでしょうか。

【指導室長】

これは、学区単位、小中学校一緒にやるところもございますが、各学校関係者、それから地域の皆様にお集まりいただいて、そこで各学校を核として様々な課題について話し合いを持つという県の事業でございます。千葉県で1000か所ということで、このような名称になっております。

【教育長】

もともと千葉県が10数年前に打ち出したもので、各地域に根差して、いろいろな声を吸い上げて、教育行政全てに生かしていきましようということで、始めたものでございます。

【八角委員】

現在も行われているのですか。

【教育長】

実際は、現在は県の施策ということではなく、それを継続した形で、各小中学校、中学校独自で行っている状況です。市内でも全ての小中学校で何らかの形で行っております。

【委員長】

先程のICT環境に関してですが、各学校でどの位活用しているとか、何かデータ化しているのでしょうか。

【教育長】

一般的にICT環境といわれていますが、残念ながら銚子市でICT環境が整備されているかどうかというところはまだまだ考える余地はあるのかなど。財政的な面で、まだまだそこまで徹底していないのが現状です。今ある中でのICT環境という名の下で、今あるものを使ってやっているというのが実態です。

【委員長】

銚子市教育委員会として、コンピュータを活用した学習として、この位やってくださいという具体的な指針は出ているのですか。

【教育長】

基本的に使うものが無ければ出来ませんので、例えば他市のようにいろいろな整備がされていけば出来るのですが、今は、基本的に学校にあるコンピュータ環境を含めて使ってやってくださいという状況です。

【委員長】

1000か所ミニ集会については、このようにやりましたというような報告は、教育委員会に上がってきているのですか。

【教育長】

上がってきています。

【委員長】

「健やかな体を育む」というところで、「健康に生活できる能力と態度の育成」というのがありますが、そこで、「心身の発達段階に応じた健康教育を推進し、望ましい生活習慣（㊤自らの健康を適切に管理できる能力）を育成する」とあるのですが、カッコを除くと「望ましい生活習慣を育成する」というようになってしまうのですが、文章としてよく分からなくて、カッコの中の「自らの健康を適切に管理できる能力を育成する」の方が、言葉として強く指導方針として伝わってきたのですが、中学校限定なのでしょうか。それとも、自らの健康を適切に管理するというのは小学生では難しいかもしれないけれども、実際はうがい手洗いをしてということだと思うので、「自らの健康を適切に管理できる能力を育成する」というのは、小学生でも使えると思ったのですが、これは中学校に限定する理由があるのですか。

【指導室長】

そのように保健教育でも目標が示されておりますので、このような文言を使わせていただきました。

【委員長】

小学生の目標にする訳にはいかないのですか。「望ましい生活習慣（㊤自らの健康を適切に管理できる能力）を育成する」を「自らの健康を適切に管理できる能力を育成する」という文言にするのは違うのですか。

【指導室長】

やはり小学生にとりましては、1年生から6年生までとかなり幅の広い発達段階が考えられますので、小学生についてはこの方がよろしいかと考えました。

【学校教育課長】

「望ましい生活習慣を育成する」は、これは小学生に対しての文言で、中学生は「自らの健康を適切に管理できる能力を育成する」ということで、ここでは中学生は自分が自らということと、小学生の場合は他律的であっても結果として、望ましい生活習慣を身に付けさせるということで、例えば、学校全体や保護者を巻き込んで、早寝早

起きをしまししょうという運動を繰り返すことによって、それが自分の健康にどう影響を及ぼすかということはまだ小学生は考えられなくても、そういった望ましい生活習慣を身に付けることによって、規則正しくなり、やがて中学校になると早く寝てきちんと睡眠時間をとることが自分の脳を活性化したり、健康を維持するんだという自覚を持つということで、発達段階における表現の違いであります。

【教育部長】

今、学校教育課長が申しましたように、「育成」という文言を「身に付けさせる」という言葉に変えたら、そんなに違和感が無くなると思うのですがいかがでしょうか。

【委員長】

そのとおりだと思います。

【委員長】

他に質疑はありませんか。

他に質疑がないようですので、これをもって、質疑を終結します。

【委員長】

これより討論に入ります。討論はございませんか。

【委員長】

賛成なのですが、賛成意見ということで、2つほど付け加えたいことがあります。先程、「健康に生活できる能力と態度の育成」のところですが、体の健康については、今いろいろな面で執り行われていて、インフルエンザや睡眠時間などに関してもいわれていますが、今は心の健康もとても重要になってきていると思います。ですので、文章はそのままでもいいのですが、この「健康に生活できる」という「健康」のところに、体の健康と一緒に心の健康というところも捉えていただきたいということを意見としたいと思います。具体的に言うと、自分の気持ちが辛いとか、怖いとか、嫌な思いをしているとか、そういう自分の気持ちを言葉で表すことができる力を付けていただきたい。気持ちを言葉で表すことを、ちゃんと発することができて、初めて周りの人がその子に対してどういう気持ちなのかが分かる事ができると思いますので、その自分の気持ちをちゃんと言葉にして発するということで自分の気持ちがどうなのかということのをちゃんと自分で言葉で表すという意味で心の健康ということ子どもたちがきちんとと言えるようにしていただきたいと思います。また、気持ちを表す時の言葉というのはそのまま生きた言葉として一人ひとりの子どもに落ちてきますので、心と繋がった言葉を身に付けるという意味でも、心の健康に取り組む中で、心に繋がった言葉を身に付けることも一緒にやっていただけたらいいかなと思います。

もう1つが、幼稚園についてですが、「人とかかわりの中で「豊かな心」を育む」という項目の中の「豊かな環境構成と指導の充実」という言葉があります。この幼稚園教育の中で使われる「豊かな環境構成」の「環境」という言葉は、物とかだけの環境ではなく、周りの子どもたちに関わる大人たちがどれだけ子どもたちの様子を見て、子どもの関わりをよく見て、どういう言葉かけをしていくか、子どもたちにどう関わっていくかという人の環境というのが大きな要素になると思います。子どもたち一人

ひとりについて、その関わり方というのはとても変わっていくものだと思いますので、その時その時の事例で、先生方が研究していくということがとても大事だと思っています。ですので、「豊かな環境構成」の中に、ただ物だけではなく、関わる先生達の教育研究も取り入れてほしい、考えてほしいということを述べたいと思います。以上です。

【委員長】

他に、討論はありませんか。

他に討論がないようですので、これをもって、討論を終結します。

これより採決いたします。議案第8号について、原案のとおり承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

【全委員】 (挙手)

【委員長】

挙手全員であります。

よって、議案第8号は原案のとおり承認することと決しました。

【委員長】

事前に予定されていた議事日程は終了いたしました。追加提案がありますので、ここで日程の追加についてお諮りいたします。

【委員長】

日程第5及び6として追加議案が上程されましたので、本日の教育委員会に追加し、議案の許否を決定したいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

ご異議ないものと認めます。

では、そのように決定をさせていただきます。

【委員長】

それでは、日程第5 議案第9号を議題といたします。

議案を職員に朗読させます。

(職 員 朗 読)

【委員長】

所管課長の提案理由の説明を求めます。

【学校教育課長】

それでは、議案第9号「銚子市立高等学校教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について」提案理由をご説明いたします。

平成26年10月10日付けの千葉県人事委員会勧告に基づく千葉県職員の給与改定に応じ、市立高等学校の教育職員について、千葉県教育職員との均衡を考慮し、所要の改正をしようとするものであります。千葉県人事委員会勧告に基づく改定は、平成26年度分の改正については11月の教育委員会定例会でご承認いただき、12月定例市議会で議決され改正済みであります。今回の改正案については、平成27年

4月実施分のものであります。

それでは、改正の内容についてご説明申し上げます。給料表の改定につきましては、千葉県人事委員会が給与制度の総合的見直しを行うこととし、月例給の水準を引き下げる勧告がなされ、市立高等学校の教育職員についても同様に改正しようとするもので、平均で2.06パーセントの引下げとなるものであります。次に、地域手当について、千葉県において給料表の水準引下げ及び国の地域手当の見直しに併せ、支給割合を県内一律7パーセントから9パーセントに段階的に引き上げ、平成27年度は7.5パーセントに引き上げられることとなることから同様に引き上げようとするものであります。職員手当の改正ですが、管理職員特別勤務手当は、現行の支給要件に、災害への対処その他の臨時又は緊急の必要により、平日午前0時から午前5時までの間にあって、正規の勤務時間以外の時間に勤務した場合を加え、6,000円を超えない範囲の額を支給しようとするものです。

改定の内容は以上のとおりですが、給料表、地域手当及び管理職員特別勤務手当に係る改定は、平成27年4月1日から施行することとし、給料表の見直しに伴う経過措置として、3年間の現給保障を実施しようとするものであります。

以上で、議案第9号の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

【委員長】

以上で説明は終わりました。

会議途中ですが、はじめに会議時間を4時までとすると決定いたしました。延長することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

【鈴木委員】

給料が、切換え日前の適用を受けるもので、今の給料に達しないものは平成30年までの3年間は差額を支給するという意味ですよね。差額の名目は、給料になるのか、それとも手当になるのでしょうか。

【学校教育課長】

名目は、給料です。給料表自体は、切換えになりますが、下がることに対しての保障ということで、3年間は今までの給料の額、現給を保障するというので、引下げ後の給料と従前の給料との差額に相当する額を支給します。

【鈴木委員】

例えば、20万円もらっていたものが19万円になっても、支給される給料は20万円ということですか。所得税はどうなるのでしょうか。

【学校教育課長】

3年間は現在の給料20万円が支給されます。所得税も、支給された給料で計算されます。

【委員長】

今回の改定で、給料が全体で2.06パーセント下がるということですか。

【学校教育課長】

前回の改定は、若年層に対する引き上げというものでしたが、今回は平均で2.06パーセントの引下げとなります。

【委員長】

他に質疑はありませんか。

他に質疑ないようですので、これをもって、質疑を終結します。

【委員長】

これより討論に入ります。討論はございませんか。

【委員長】

討論なしと認めます。

これより採決いたします。議案第9号について、原案のとおり承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

【全委員】 (挙手)

【委員長】

挙手全員であります。

よって、議案第9号は原案のとおり承認することと決しました。

【委員長】

続きまして、日程第6 議案第10号を議題といたします。

議案を職員に朗読させます。

(職 員 朗 読)

【委員長】

所管課長の提案理由の説明を求めます。

【学校教育課長】

議案第10号「銚子市立高等学校教育職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部を改正する規則制定について」提案理由を説明いたします。

千葉県人事委員会は、平成27年2月6日、千葉県職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する規則の一部を改正し、平成26年4月1日からの適用としました。これに伴い、市立高等学校の教育職員に関しましても、千葉県教育職員との均衡を考慮して、同様に規則改正をするものであります。改正の内容については、職員を昇格させた場合における給料の号給を定める別表第6「昇格時号給対応表」を改正するものであります。この規則の改正は公布の日から施行し、平成26年4月1日から適用させるものであります。

以上で、議案第10号の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

【委員長】

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

【委員長】

質疑なしと認めます。

【委員長】

これより討論に入ります。討論はございませんか。

【委員長】

討論なしと認めます。

これより採決いたします。議案第10号について、原案のとおり承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

【全委員】（挙手）

【委員長】

挙手全員であります。

よって、議案第10号は原案のとおり承認することと決しました。

【委員長】

以上をもちまして、平成27年2月銚子市教育委員会定例会を閉会いたします。

銚子市教育委員会会議規則第51条の規定により署名する。

平成27年3月24日

署名委員 八角憲男

署名委員 鈴木猛志